

授業科目名	地域振興論		担当教員名	田辺 文彦		
科目区分	単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態	
学部共通専門科目	選択	2	1~3	春・秋学期	金・3	講義
授業概要 <p>日本経済の低迷の中、とりわけ地域の経済の停滞が続いている。これを受け、地域においては工場立地に次ぐ新たな自立的な経済発展の推進役を探す動きが盛んとなった。しかし、現代の地域振興においては、これまでと異なり、全国一律の手法が通用せず、地域の歴史や特色を生かした開発が必要である。</p> <p>ここでは、これまでの各地の地域振興事例から地域振興に必要な用語や概念の基礎知識を学ぶとともに、地元（神戸等）で企画されている地域開発イベントにおける学生参加も含めて実践的な地域振興を学ぶ。</p>						
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ● 個人の地域分析力（＝用語知識の定着と理解）の修得により新聞の地域欄が読める。就活におけるグループディスカッション力がアップする。 ● 地域参加（＝分析、調査、とりまとめ、表現力）により実際的な地域振興経験ができる。 						
授業方法（展開） <p>(1) 言語力向上のための宿題がある。課題文を配布、次回までに読了。読んだ内容の確認小テストを実施</p> <p>(2) 新たに知識問題（用語、予備知識）の中間試験を実施</p> <p>(3) 演習、FW（フィールドワーク）で学生がグループ報告をすることがある。</p> <p>(4) 報告内容は精査・校正・要約し、web等で広報することがある。</p> <p>(5) 講義の代わりに動画視聴、ゲスト講師のお話、FWを行うことがある。</p> <p>15回の授業の取りまとめ（①配布資料貼り付け＋②自分で調べた資料＋③意見・総括）を報告書ノートとして提出</p>						
関連科目・知識・スキル <p>以下の履修が望ましい：京阪神の地理歴史、現代日本社会事情、日本地域研究、観光経済論、観光学概論、観光マーケティング論、観光地開発論、観光政策行政論（履修状況を1講目に調査します）</p>						
成績評価 <p>量的評価（理解量）：科目内容の2／3以上を理解していること（単純に出席ではなく分かっていること）が基本でB以上となります。質的評価（理解の深さと熱意）：これに提出物・発表の質で加点・減点します。C以上で単位取得が出来ます。Sは授業の理解以上に自分の身近な経験への応用や他にない独自の工夫がある場合に加点します。いずれも数値と固有名詞があることがポイントとなります。</p> <p>遅刻は分単位で記録し累積で量的評価から減点します。途中退室も厳密に分単位で記録し同様です。</p> <p>宿題提出・発表・発言が少なく理解量が講義内容の2／3に達しない場合、中間試験未受験、学期末の報告書ノートの未提出の場合は、単位認定は自動的にできませんのでご注意ください。</p>						

教科書・参考書など

教材は、講義で配布参考図書として図書館で地域経済や地域社会の本（授業でリスト配布）を借りること。
新聞（読売、朝日、サンケイ、日本経済、神戸等）の地域欄を毎日読むこと

履修上の注意事項

特に、「**社会で当たり前のけじめ**」をテーマとします。

- (1) **遅刻**は厳格で**分単位で記録**。**途中退席**も**分単位で記録**。
- (2) **挨拶・点呼**を授業スタート時に行います。目を合わせず・返事もしないマナー違反＝ホスピタリティ欠如は、**当日の評価を（熱意の面で）引き下げます**。これは授業に入る大切な準備です。
- (3) **授業中の私語**については、**学生個人の席まで行って個人名を特定して注意**。この場合も**（熱意の面で）評価を引き下げます**。
- (4) 最後に、理解メモを提出していただき、最初の点呼と合わせて出欠とします。途中退室により理解メモが提出されていない場合は、欠席となります。
- (5) 就職講座などで**振替授業**を行うこと、ゲスト講師の講義、FW（フィールドワーク）で、**授業時間を変更する場合**があります。

以上、予めご承知おきください。

授業の柱(単元)と授業スケジュール

- | | |
|-----|---------------------------|
| 1回 | 科目概要と自己紹介、演習:他己紹介 |
| 2回 | 地域振興とは。歴史、思想、他の科目との関係。 |
| 3回 | 課題図書宿題(県境の謎:兵庫県の誕生) |
| 4回 | 課題図書宿題(神戸市、西の宮市の地域振興レポート) |
| 5回 | 課題図書宿題(その他の地域振興レポート) |
| 6回 | 同上 |
| 7回 | 同上 |
| 8回 | 同上 |
| 9回 | 中間試験(必須) |
| 10回 | ゲスト講師またはFW(神戸市または西の宮市) |
| 11回 | 同上 |
| 12回 | 同上 |
| 13回 | 同上 |
| 14回 | 自分の選んだ地域の学生地域振興レポート制作 |
| 15回 | まとめ |

学生への一言

私の他の科目同様、分かりやすい授業はあえて目指しません。これまでの経験で、分かりやすい授業は、結局「**つかむ力**」がつかず、依存心を生み、就職活動にも有効ではありませんでした。ここでは、卒業後に役に立つ学習習慣の修得（自分で読み、社会人相手に情報を集め、判断し、伝える）を目指します。しんどいですが、一緒にがんばりましょう。